

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 ◆C-1-2-1 事業名 農地整備推進支援事業（亶理地区）
事業費 総額 28,943千円
事業期間 平成24年度～平成25年度
事業目的・事業地区 亶理町の亶理地区の農業・農村の復興には、単なる農地の原形復旧ではなく、区画の大区画化や担い手等への農地利用集積及び集団化により、経営の規模拡大等を図り、競争力のある農業を実現することが必要となる。 また、町の復興計画においては、復興まちづくりのために必要となる多重防御機能を有した道路・避難路の整備、公共土木施設の整備、ライスセンター等の農業用施設の整備が計画されており、区画整理の換地手法を活用し、それらの用地の創出の調整を行う方針である。 一方、通常、農地整備を行う場合、合意形成から法手続終了までに4年程度を要するが、農業・農村を迅速に復興するため、これを1～2年程度まで短縮する必要があり、まちづくりと調整を行いつつ短期間に合意形成を図る必要がある。そのためには、地域住民参加によるワークショップが効果的であり、専門的知識を有するファシリテーターを確保する必要がある。 このため、本事業を活用し地域の合意形成に必要な専門的知識・経験を有するファシリテーターを配置し、短期間での事業実施を可能とするものである。
業務内容 集落毎に開催するワークショップの企画・運営に関する委託 一式 対象地区名 亶理地区 面積 A=1,150.0ha
亶理町震災復興計画 該当箇所：P34 農林業の復興「主な事業等」 概要：大規模ほ場整備事業の推進
事業結果 地区名：亶理 <平成24年度～平成25年度> ・集落毎に開催するワークショップの企画・運営に関する委託 一式 28,943千円
事業の実績に関する評価 ① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 ・地域の合意形成を図ることで、迅速な復旧・復興への取り組みが可能となった。

②コストに関する調査・分析・評価

- ・事業費の設計・積算は土地改良工事積算基準等により実施し、宮城県財務規則等に基づき入札を行い業者を選定している。

③事業手法に関する調査・分析・評価

- ・亘理地区における農地整備推進支援事業は、以下のとおり、概ね予定どおり事業を進めることができた。

<想定した事業期間>

集落毎に開催するワークショップの企画・運営に関する委託 一式

平成24年10月～平成26年3月

(「荒浜北部」事業計画確定	平成25年5月)
(「吉田西部」事業計画確定	平成25年6月)
(「吉田南部」事業計画確定	平成25年6月)
(「吉田中部」事業計画確定	平成25年6月)
(「高屋・鳥屋崎」事業計画確定	平成25年6月)
(「吉田東部1期」事業計画確定	平成25年6月)
(「吉田東部2期」事業計画確定	平成25年6月)

<実際に事業に有した事業期間>

集落毎に開催するワークショップの企画・運営に関する委託 一式

平成24年9月～平成26年3月

(「荒浜北部」事業計画確定	平成25年5月)
(「吉田西部」事業計画確定	平成25年6月)
(「吉田南部」事業計画確定	平成25年6月)
(「吉田中部」事業計画確定	平成25年6月)
(「高屋・鳥屋崎」事業計画確定	平成25年6月)
(「吉田東部1期」事業計画確定	平成25年6月)
(「吉田東部2期」事業計画確定	平成25年6月)

事業担当部局

農政部農村振興課 電話番号：022—211—2862